

特定非営利活動法人日本トレーニング指導者協会
准トレーニング指導者（JATI-Associate Accredited Training Instructor）申請書

下記の者の「准トレーニング指導者」称号の取得を申請いたします。

申請に伴い、この者が当校・当社において、日本トレーニング指導者協会に認定されている養成校・養成機関科目対応表の授業・教育プログラムの単位を全て修得し終えていることを証明します。

また、本制度について十分に説明を行い、申請者は「准トレーニング指導者」の位置付けならびに、取得に際しては日本トレーニング指導者協会個人正会員への入会が必要であることを理解しています。

記入日	西暦 年 月 日
審査結果 送付先	☐ 養成校・養成機関 ☐ 申請者 ※いずれかに✓

養成校・ 養成機関名	
担当者	部署・職名： 氏名： ⑩
養成校・養成機関 所在地・連絡先	〒 TEL：

申請者情報

フリガナ	
氏 名	
JATI 会員番号	<既に入会済みの場合のみ記載>
住所	〒
電話番号	
生年月日	西暦 年 月 日
認定試験 受験歴（※）	受験年月日： 年 月 日 開催
	試験会場 ：
	受験番号 ：
卒業・修了年月 (見込含む)	西暦 年 月 ☐ 卒業 ☐ 卒業見込み 養成校の場合は卒業年月、養成機関の場合はプログラム修了年月

※複数回受験歴のある場合には直近の情報を記載（該当の試験結果通知書の写しを同封すること）

新テキスト（3訂版）対応表

申請者名：_____

以下の「対応する科目または講習科目」の授業単位を全て修得済みです。

科目名（一般科目）	対応する科目または講習科目	科目名（専門科目）	対応する科目または講習科目
体カトレーニング総論		トレーニング指導者の役割	
機能解剖(1)上肢		トレーニング指導者の実務	
機能解剖(2)脊柱と胸郭		トレーニング効果の測定と評価	
機能解剖(3)骨盤と下肢		測定データの分析とデータの活用法	
バイオメカニクス(1)基礎理論		長期的トレーニング計画	
バイオメカニクス(2)スポーツ及びトレーニング動作のバイオメカニクス		レジスタンストレーニング	
運動生理学(1)呼吸循環器系・エネルギー代謝と運動		パワートレーニング	
運動生理学(2)骨格筋系・神経系・内分泌系と運動		持久カトレーニング	
運動と栄養(1)運動と栄養の基礎理論		スピードトレーニング	
運動と栄養(2)対象と目的に応じた栄養摂取		柔軟性向上トレーニング及びウォームアップ、クールダウン、リカバリー	
運動と心理(1)運動と心理の基礎理論		特別な対象のためのトレーニングとプログラム	
運動と心理(2)運動学習と指導法		生活習慣病、傷害の受傷から復帰までのトレーニングプログラム	
運動と医学(1)生活習慣病		レジスタンストレーニングの実技と指導法	
運動と医学(2)スポーツ傷害		パワートレーニングの実技と指導法	
運動と医学(3)救命救急法		持久カトレーニングの実技と指導法	
		スピードトレーニングの実技と指導法	
		ウォームアップと柔軟性トレーニング、その他のトレーニング実技と指導法	

※科目対応表に認定されている正式な授業名称を記載すること

※単位修得見込み時点での申請は不可

_____年 _____月 _____日

養成校・養成機関名：

担当者名：

印

旧テキスト（改訂版）対応表

申請者名：_____

以下の「対応する科目または講習科目」の授業単位を全て修得済みです。

科目名（一般科目）	対応する科目または講習科目	科目名（専門科目）	対応する科目または講習科目
体力学総論		トレーニング指導者の役割	
機能解剖(1)上肢		トレーニング計画の立案(総論)	
機能解剖(2)脊柱と胸郭		筋力トレーニングのプログラム作成	
機能解剖(3)骨盤と下肢		パワー向上トレーニングの理論とプログラム作成	
バイオメカニクス(1)基礎理論		有酸素性及び無酸素性持久力向上トレーニングの理論とプログラム作成	
バイオメカニクス(2)スポーツ及びトレーニング動作のバイオメカニクス		スピード向上トレーニングの理論とプログラム作成	
運動生理学(1)呼吸循環器系・エネルギー代謝と運動		ウォームアップとクールダウン・柔軟性向上トレーニングの理論とプログラム作成	
運動生理学(2)骨格筋系・神経系・内分泌系と運動		特別な対象のためのトレーニングとプログラム	
運動と栄養(1)基礎理論		傷害の受傷から復帰までのトレーニングとプログラム	
運動と栄養(2)スポーツ選手の競技力向上と栄養		筋力トレーニングの実際	
運動と栄養(3)一般人の健康増進と栄養		パワー向上トレーニングの実際	
運動と心理(1)基礎理論		有酸素性及び無酸素性持久力向上トレーニングの実際	
運動と心理(2)スポーツ選手の競技力向上への活用		スピード向上トレーニングの実際	
運動と心理(3)一般人の健康増進への活用		ウォームアップとクールダウン・柔軟性向上トレーニングの実際	
運動と医学(1)救急処置法		トレーニング効果の測定と評価の実際	
運動と医学(2)スポーツ選手の整形外科的傷害と予防		測定データの活用とフィードバックの実際	
運動と医学(3)生活習慣病とその予防		トレーニングの運営	
運動指導の科学		運動指導のための情報収集と活用	

※科目対応表に認定されている正式な授業名称を記載すること

※単位修得見込み時点での申請は不可

_____年 _____月 _____日

養成校・養成機関名：

担当者名：

印